

第 1 回森町総合計画審議会 次第

日時：令和 7 年 10 月 29 日(水) 15:00～

場所：森町町民生活センター 2 階 集会室

1 開 会

2 町長あいさつ

3 自己紹介

4 会長及び副会長の選出

5 報告事項

(1) 森町総合計画審議会について

(2) 第 10 次森町総合計画策定について

(3) 策定スケジュールについて

6 そ の 他

7 閉 会

第10次森町総合計画策定について

1. 総合計画について

10年後の森町が目指すべき姿や、それを実現するために必要な取組を示す

森町にとって「まちづくり」の基本となる計画

総合計画は、**町の最上位計画**であり、町政の中長期的な指針となるものです。

第9次森町総合計画（以下、「現行計画」という。）では、まちの将来像を、

「住む人も訪れる人も『心とらぐ森町』」と掲げています。

■ 森町総合計画の沿革

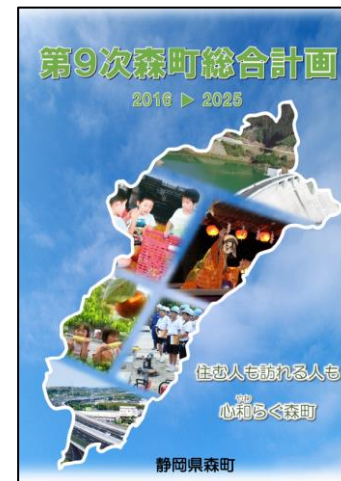
計画名称	策定年月	計画年数	将来像（総論）
森町建設計画（第1次）	昭和30.3	5年	—
森町建設計画（第2次）	昭和31.9	5年	—
森町総合開発計画（第3次）	昭和45.4	7年	—
森町建設計画（第4次）	昭和48.3	10年	—
第5次森町総合計画	昭和53.1	8年	【総論】住みたくなるような町づくり
第6次森町総合計画	昭和61.1	10年	【総論】活力に満ちた心のふれあう町
第7次森町総合計画	平成8.12	10年	【将来像】豊かさ広がる活力とゆとりのまち・森
第8次森町総合計画	平成19.3	10年	【将来像】ええら森町！ ～みんながチカラの郷（さと）づくり 古きをいかして新しきを創る～
第9次森町総合計画	平成29.3	10年	【将来像】住む人も訪れる人も「心とらぐ森町」

1. 総合計画について

総合計画は、「**基本構想**」、「**基本計画**」で構成されます。

現行計画では、基本構想と基本計画ともに計画期間は10年間としています。

■ 森町第9次総合計画の構成



基本構想

基本構想

まちの将来像など、**まちづくりのビジョン**を明確にし、政策の基本目標（政策テーマ）を定め、その実現に向けた指針を示します。

計画期間は **10 年間**としています。

基本計画

基本計画

将来像の実現と、**基本構想に基づく施策を戦略的に推進**するため、主要な施策・事業を掲げます。

計画期間は基本構想と同じ**10 年間**です。

2. 次期計画の策定について

(1) 社会情勢の急速な変化等への対応

社会情勢の急速な変化や新しい時代の動向に的確に対応し、
真の豊かさを実感できる地域社会を構築していくための新たな計画が必要です。

現行計画の計画期間が令和7年度までであることから、次期計画の策定が必要です。

現行計画を策定した平成29年3月以降、社会情勢は大きく変化しています。また、新しい時代の動向への対応も必要となっています。

社会情勢の変化

- 人口減少・少子高齢化
- 南海トラフ地震等の大規模災害の切迫
- 気象災害の激甚化・頻発化
- デジタル技術の進展
- 人々の価値観や働き方、暮らし方の多様化
- 物価の高騰
- インバウンドの回復 など

新しい時代の動向

- SDGsの実現
- こどもまんなか社会の実現
- 人々の幸福感（ウェルビーイング）を高めるまちづくり
- AI・ロボット・ドローン等の新技術やデジタル技術の活用 など

2. 次期計画の策定について

(2) 策定にあたっての基本方針

① 町民と行政によるまちづくり

- ・幅広い年代や属性の町民の意見を広く聴き、町民ニーズを踏まえた計画とします。

② 全職員の主体的な参画による策定

- ・庁内策定委員会、各課へのヒアリング、職員ワークショップの実施等により、全職員が一丸となって策定します。

③ 簡潔で分かりやすい計画

- ・まちの将来像をイメージしやすく工夫するなど、町民にとって分かりやすく、親しみやすい計画とします。

④ 各種計画との整合性の確保

- ・町の最上位計画として個別計画との整合性を図るとともに、まちづくりの一体性・実効性を高めるため、総合計画と森町人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略、森町DX推進計画を一体的に策定します。

⑤ 新しい時代に対応した計画

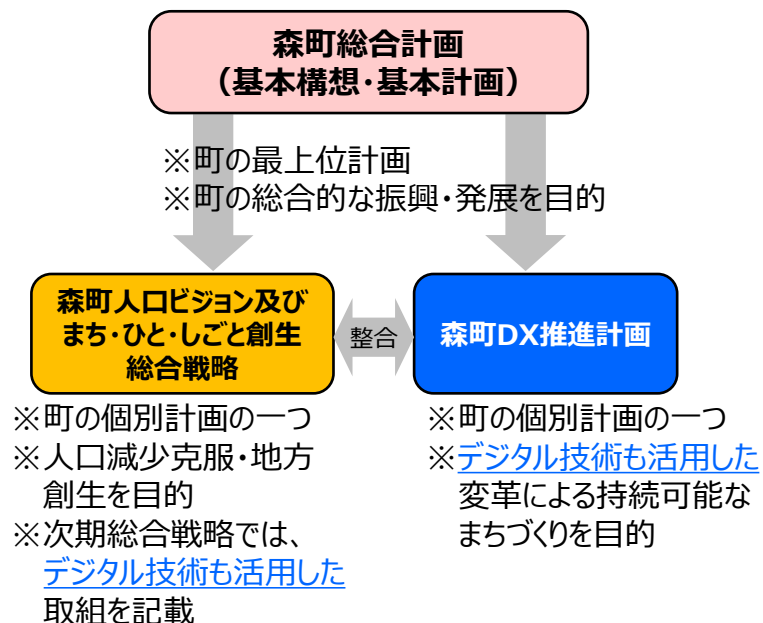
- ・SDGsや町民の幸福感（ウェルビーイング）といった新しい時代の動向に対応した計画とします。

2. 次期計画の策定について

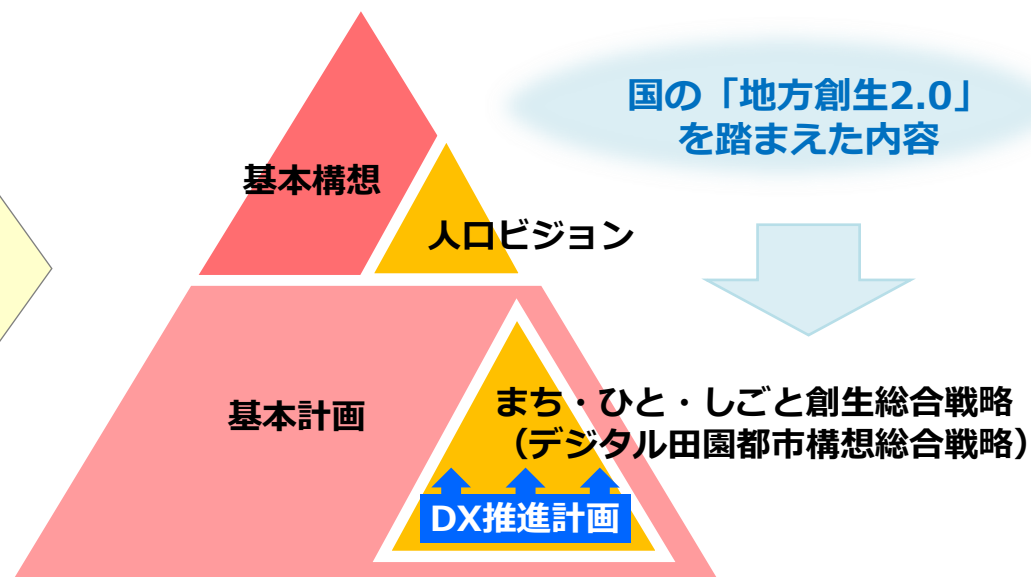
(3) 計画の構成の見直し

町が推進するまちづくり全体の一体性と実効性を高めるため、
地方創生を目的とした「**人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略**」と
デジタルの力も用いて町の変革を進める「**DX推進計画**」を**一体の計画**として策定します。

■ 現行計画の構成



■ 森町第10次総合計画の構成

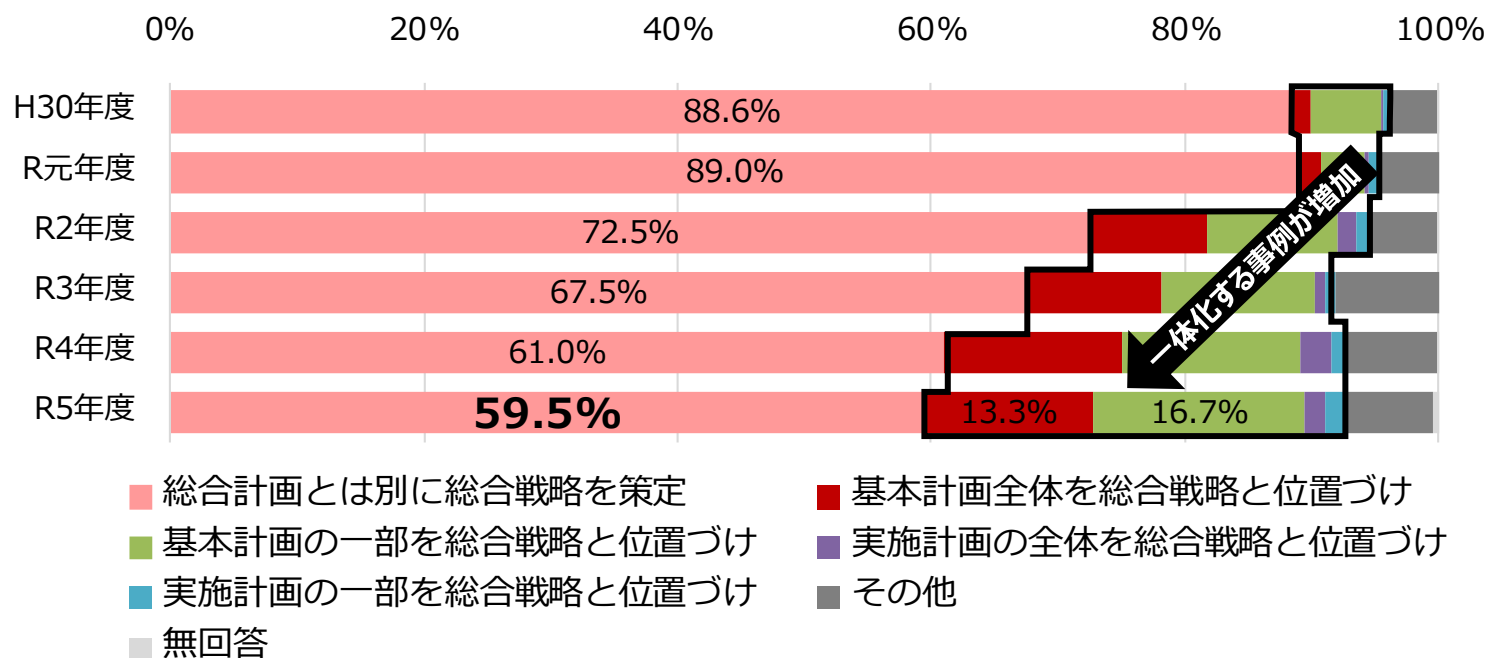


※「森町DX推進計画」を総合戦略に組み込むことで、
デジタル技術が施策の推進を下支えする役割を持たせます。

2. 次期計画の策定について

【参考】「総合計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関係について

地方公共団体における総合計画と総合戦略の策定状況の経年変化を見ると、総合計画とは別に総合戦略を策定する割合が年々減少し、**総合計画と総合戦略を一体化する事例が増加**しています。特に、基本計画の一部を総合戦略と位置づけている割合が増えています。



2. 次期計画の策定について

(4) 計画期間

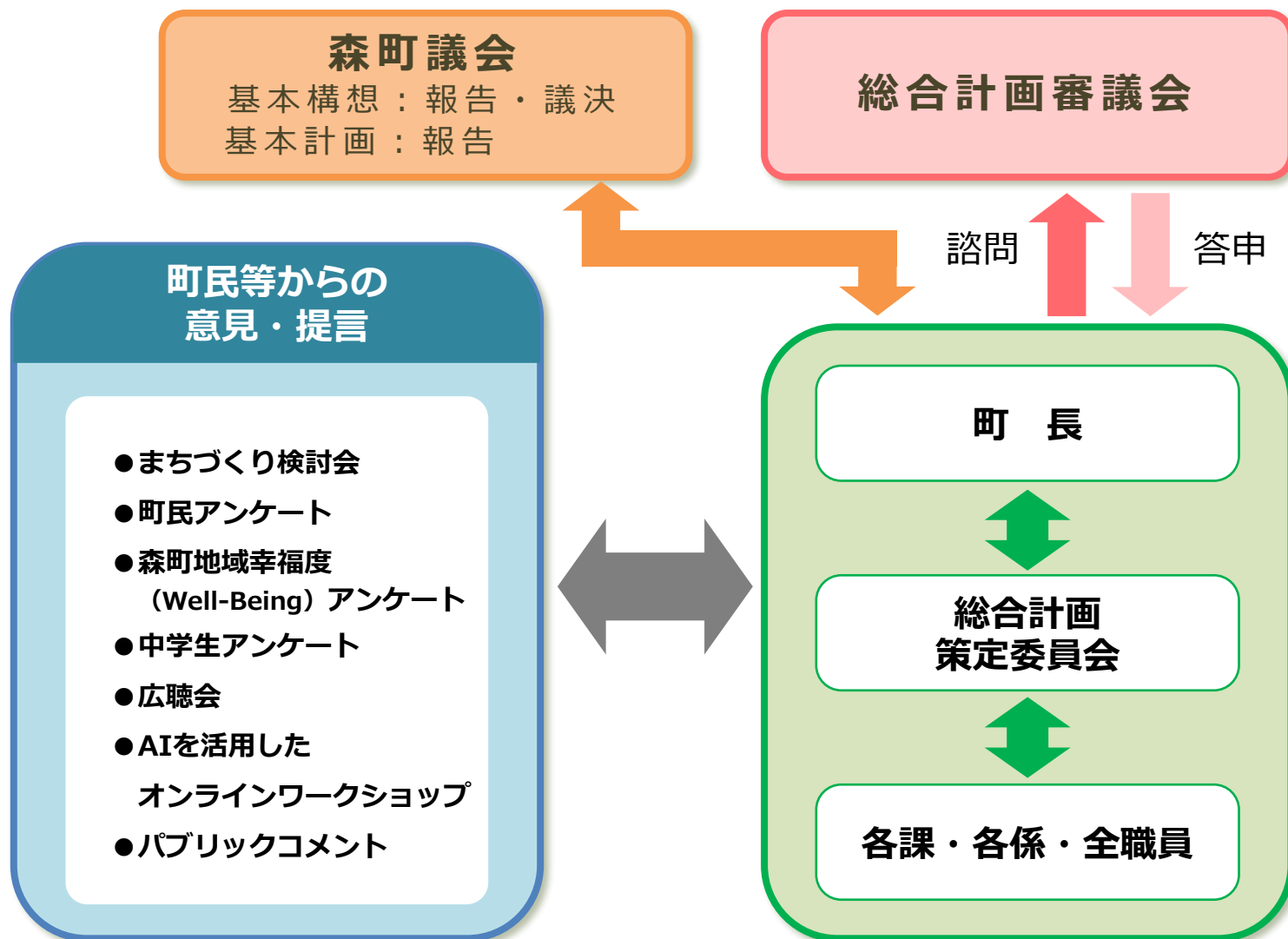
社会情勢の変化の速さに対応するため、**基本計画は5年ごとに策定**にします（前期・後期に分けて策定）。

■ 現行計画・次期計画の計画期間

		平成				令和															
		28	29	30	31	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
現行計画	基本構想	計画期間10年																			
	基本計画	計画期間10年																			
次期計画	基本構想											計画期間10年									
	基本計画											前期基本計画 計画期間5年					後期基本計画 計画期間5年				

2. 次期計画の策定について

(5) 計画の策定体制



2. 次期計画の策定について

(6) 町民と行政によるまちづくり

① 町民アンケート

実施済

【対象】 15歳以上の町民 2,000人（無作為抽出）

【主な調査項目】

- ・住んでいる地域や生活について
- ・森町のまちづくりに対する評価や期待について
- ・森町の地方創生の取組や今後の町政の進め方について
- ・まちの将来イメージについて

【調査期間】 令和7年8月27日（水）～9月12日（金）

【調査方法】 郵送配布、郵送・Web回収

② 森町地域幸福度（Well-Being）アンケート

実施中

【対象】 町民一般

【主な調査項目】

- ・幸福度・生活満足度について
- ・生活環境や地域の人間関係、自分らしい生き方について

【調査期間】 令和7年8月27日（水）～12月5日（金）

【調査方法】 Web調査

①町民アンケートの対象者や
④広聴会参加者、町HP等で
協力を呼びかけ

③ 中学生アンケート

実施済

【対象】 町内中学生 1～3年生（407人）

【主な調査項目】

- ・森町の住みやすさ、地域活動への参加の意向と将来について
- ・森町のこれからのまちづくりについて

【調査期間】 令和7年7月7日（月）～7月17日（木）

【調査方法】 Web調査 【回収数】 384件（有効回収率94.3%）

④ 森町を語る会

【対象】 町内6地区の地域住民

【意見交換のテーマ】 「みんなで考えよう 未来の森町」（予定）

【開催時期】 令和7年11月23日（日）・29日（土）・30日（日）

【開催方法】 地区ごとに対面開催（各地区1回）

⑤ まちづくり検討会

【対象】 町内でまちづくりに携わる個人・団体等

【意見交換のテーマ】 10年後の目指す姿、その実現に必要な取組

【開催時期】 令和7年11月から令和8年度8月頃 計5回

【開催方法】 ワークショップ形式（予定）

⑥ AIを活用したオンラインワークショップ

【対象】 町民一般（参加登録制）

【テーマ】 「（仮）みんなで語ろう 10年後の森町の将来像」

【実施期間】 令和7年12月～令和8年1月（予定）

【調査方法】 オンライン

④広聴会参加者、町広報、町HP等
で参加を広く呼びかけ

⑦ パブリックコメント

【対象】 森町に居住・通勤・通学している方、森町に事務所又は事業所を有する方、森町に関わりのある方

【募集する意見】 第10次森町総合計画（案）

【実施時期】 令和8年12月頃

3. 第10次森町総合計画における基本理念・将来像・視点・基本の柱

第10次総合計画における核となる視点

(1) 社会情勢の急速な変化に対応した持続可能なまちづくり

出生数の向上や社会移動を増やす等、人口減少対策への取組

社会情勢の急速な変化に対応し、町民が心豊かに暮らせる持続可能なまちづくりへの取組

社会情勢の変化

- 人口減少・少子高齢化 ●物価高騰
- 価値観等の多様化 ●デジタル技術の進展
- 気象災害の激甚化・頻発化 など

(2) 森町らしさを生かしたまちづくり

森町の特性や地域資源を生かし、まちの魅力をより一層高め、広げる取組

町民や森町に関わる人が、まちに愛着や誇りが持てるまちづくりへの取組（シビックプライドの醸成）

町民や民間事業者等と連携した、まちの活性化に向けた取組

第10次総合計画

基本理念・将来像

基本の柱

人々の幸福度
(ウェルビーイング)

発展

新たな視点

核となる視点

第9次総合計画

(基本理念)

人の輪
外部との交流

対話
信頼の構築

調和
人と自然

(将来像)

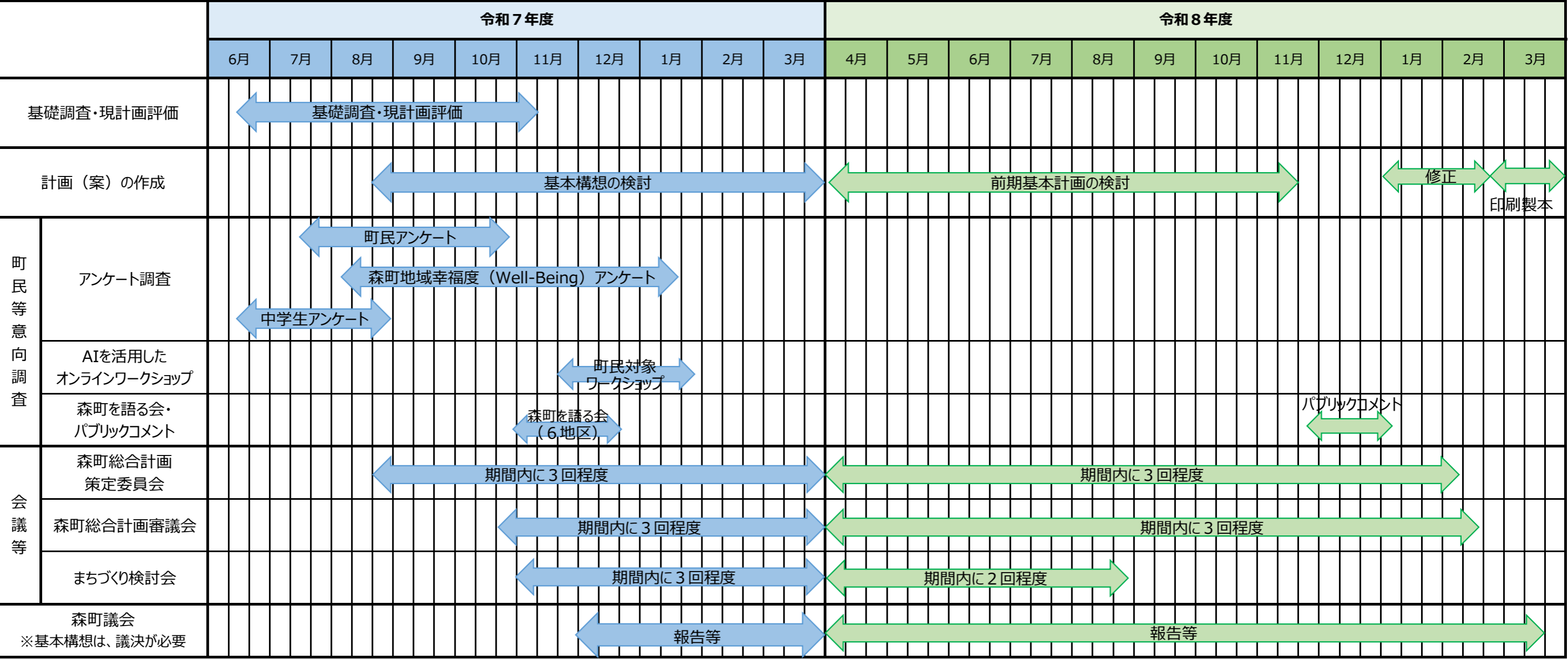
住む人も訪れる人も
「心とらぐ森町」

基本の柱

- ・みんなで助けあう健やかなまち
- ・先人に学びみんなで育むまち
- ・交流が盛んでにぎわうまち
- ・活気あふれる産業のまち
- ・いつまでも暮らせるやすらぎのまち
- ・豊かな自然があふれるまち

第10次森町総合計画策定スケジュール

資料 2



※町民等意向調査は、調査の企画、調査実施、結果とりまとめまでの期間を表しています。

【森町総合計画審議会の開催概要】

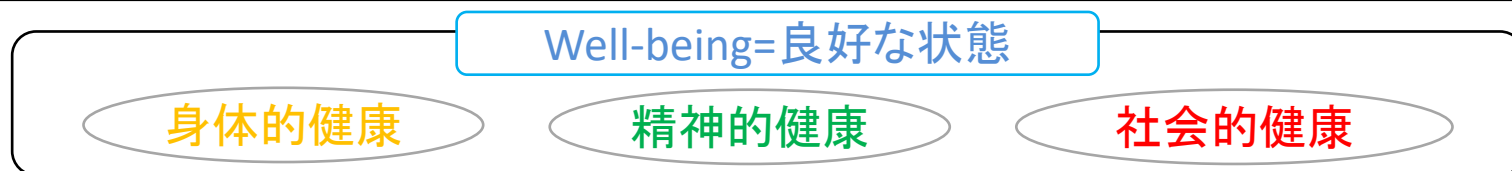
回数	開催時期	主な内容
第1回	令和7年 10月29日（水）	・次期総合計画策定について ・策定スケジュール（案）
第2回	令和8年 1月～2月	・各種調査結果報告（町民等意向調査、基礎調査 等） ・現行計画の評価結果 ・基本構想（骨子）
第3回	令和8年 2月～3月	・各種調査結果報告 （Well-Beingアンケート、町民対象ワークショップ） ・まちづくり検討会の検討状況報告

回数	開催時期	主な審議内容
第4回	令和8年 7月頃	・基本計画（素案）
第5回	令和8年 10月頃	・まちづくり検討会の報告 ・総合計画（案）
第6回	令和9年 1月頃	・パブリックコメント結果 ・総合計画（最終案）

幸福度（ウェルビーイング）について

1. ウェルビーイングについて

- ・ウェルビーイングとは、「**身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること**」を意味します。
- ・また、ウェルビーイング指標とは、町民の「暮らしやすさ」と「幸福度（ウェルビーイング）」を数値化・可視化する指標で、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが開発したものです。国の「デジタル田園都市国家構想」においては、ウェルビーイング指標を用いた取組の評価手法等を積極的に活用しながら、**地域が一体となって、幸福度の高い地域社会の実現を図り、その持続可能性を高めていくことが重要である**としています。
- ・静岡県の次期総合計画の目指す姿として「幸福度日本一の静岡県」としている。こうした動向を踏まえ、**次期総合計画においては、「幸福度（ウェルビーイング）」を新たな視点として取り入れていきます。**



- 世界的に認知された以下のふたつの考え方を地域幸福度(Well-Being)指標の基本概念としています。

ウェルビーイング (Well-being)

＝「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」

- 「健康とは、病気ではないとか、弱っていないというわけではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべて満たされた状態（Well-being）にあること」（WHO）

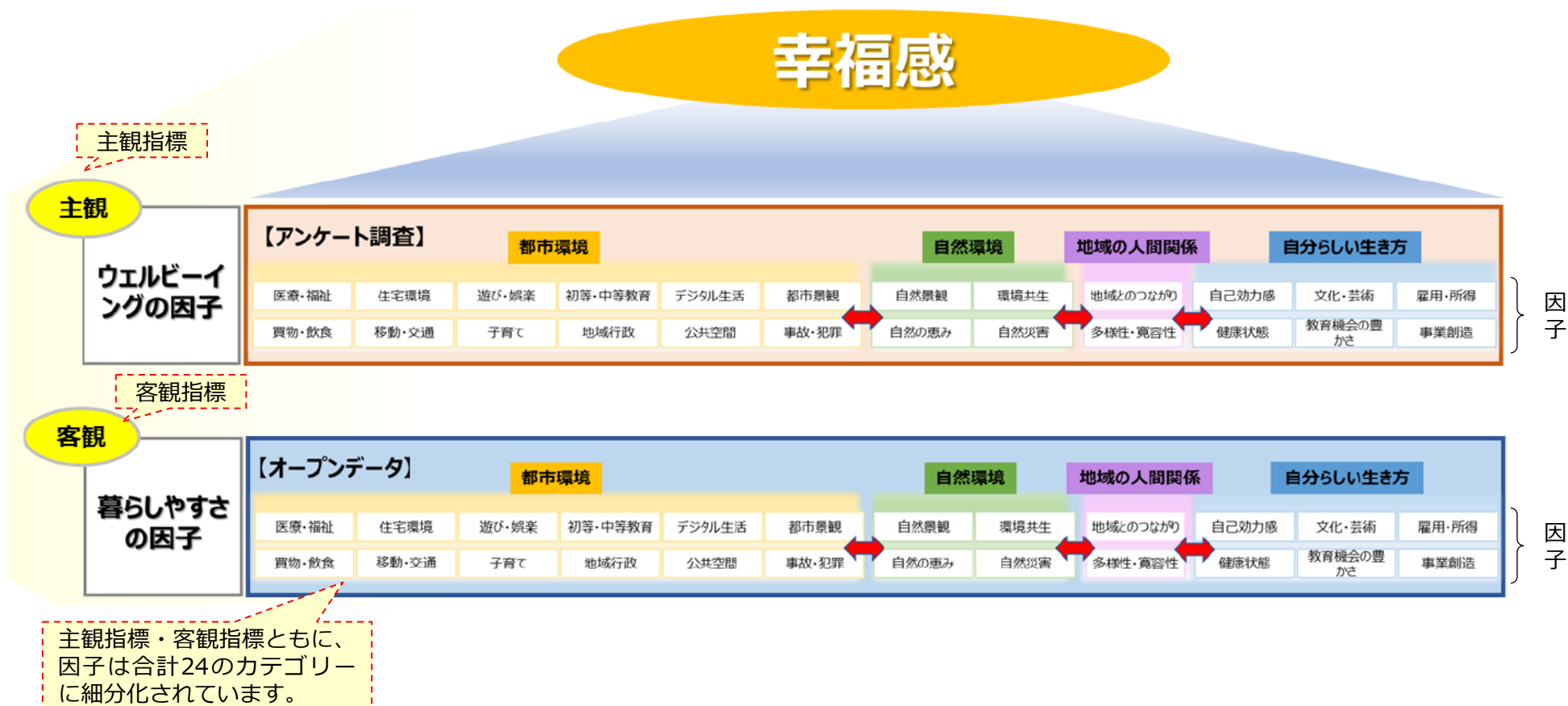
健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health)

＝「個人または集団の健康状態に違いをもたらす経済的、社会的状況のこと」

- WHOソリッドファクト（2003年）に列挙された健康の社会的決定要因：社会格差、ストレス、幼児期、社会的排除、労働、失業、社会的支援、薬物依存、食品、交通
- 社会的決定要因とは、人間の健康には人間内面（身体・精神・社会）のみならず、外部環境も影響を与えているとする

2. ウェルビーイング指標について

- ・ウェルビーイング指標は、下の図に示すとおり、各地域における政策と、その政策インパクトとして現れる町民の幸福感とを結ぶ構造となっています。
- ・幸福感を測る尺度は、主観指標と客観指標それぞれで、「都市環境」「自然環境」「地域」「自分らしい生き方」の因子群の、24のカテゴリーに分類されています。
- ・主観指標ではアンケート調査（P3参照）から町民のウェルビーイングを、客観指標ではオープンデータから暮らしやすさを測定します。



3. 森町地域幸福度（Well-Being）アンケートについて

- ・ 町民に対し幸福度や暮らしやすさ（生活満足度）を尋ねることで、森町にとって優先度の高い取組などを明らかにすることを目的としてアンケートを実施しています。
- ・ アンケート設問は、一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが作成・開発したもので、下図に示す、幸福度・生活満足度に関する設問と、24のカテゴリーごとの設問で構成されています。

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？

- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

生活環境（16）

医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない
- 飲食を楽しめる場所が充実している

住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている
- 適度な費用で住居を確保できる

移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

遊び・娯楽（1）

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている
- 公共施設は使い勝手良く便利である

デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

地域の人間関係（2）

地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
- 困ったときに相談できる人が身近にいる
- 町内の人が困っていたら手助けす
- このまちに愛着を持っている

多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

自分らしい生き方（6）

自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる

健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である
- 精神的に健康な状態である

文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

事業創造（1）

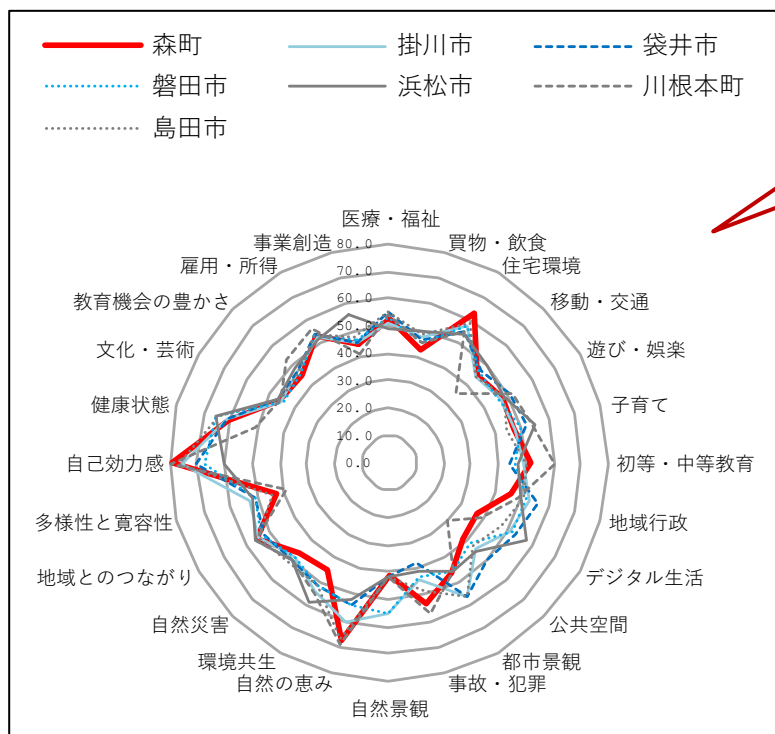
- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある

■ の項目が標準設問（全50問）

4. ウェルビーイング指標の活用について

- 客観指標を活用した近隣自治体との比較や、森町地域幸福度（Well-Being）アンケートの結果を活用して、今後、主観指標と客観指標に基づくまちに対する評価や、まちの強み・課題の抽出などを実施していきます。

▼客観指標を活用した近隣自治体間比較



「自己効力感」や「自然の恵み」、「住宅環境」
偏差値が高く、
「デジタル生活」、「公共空間」（人口あたり公園面積等）
の偏差値が低い

▼主観指標と客観指標に基づく、まちに対する評価（イメージ）

